

びわぎん

# 環境保全・地域貢献 かわら版 2009



平成20年度  
びわぎん緑と水の基金助成事業  
りゅうおう桜を植えよう会  
アグリパーク竜王に桜を植採

● 当行が寄贈した桜が今年も元気な花を咲かせています。



神崎郡 五個荘町



大津市 仰木の里



近江八幡市 白王町



環境先進企業として環境省が創設した

## 「エコ・ファースト」企業

に認定されました

### エコ・ファーストの約束

1. 自らの環境負荷軽減を積極的に推進します。
2. 銀行業務として環境金融商品を積極的に推進します。
3. びわ湖を取り巻く自然環境の保全活動を積極的に支援します。



▲JR大津駅前看板



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

びわこ銀行は政府が呼びかける“チーム・マイナス6%”の趣旨に賛同し、温暖化防止のため「環境銀行」の取り組みをはじめさまざまな活動を行っています。



びわこ銀行  
BiwakoBank

環境と経済の両立で  
地元に役立つ“じぎん”づくり

私どもびわこ銀行は、単なる「地方銀行」ではない「地元の銀行」という思いを込めた“じぎん”をキャッチフレーズに、地元のお役に立つ銀行を目指しております。

また、滋賀県は、日本一の琵琶湖を抱える土地柄から、とりわけ環境問題に対して関心が高く、「環境」を銀行経営の中枢に取り込もうという企業文化が自然に育まれてきました。

銀行業務においても、環境に関連する預金商品、融資商品の発売や、当行がファンドの販売会社として受け取る信託報酬の一部から温室効果ガスの排出権を購入し、日本政府の口座に無償移転するという、地方銀行初となるカーボン・オフセットの仕組みを取り入れた投資信託「環境未来バランスオープン(愛称:環境宣言)」の発売など、「環境銀行」としての取り組みを充実させてきました。

このような地道な活動が認められ、平成20年7月には、業界のトップランナー企業が環境保全活動をよりレベルアップさせることができるよう環境省が認定しているエコ・ファースト制度「エコ・ファーストの約束」を銀行業界として初めて公表しました。当行はこれの中で大きく3つの約束をしており、その実践に努めるとともに「地球温暖化防止」に貢献すべく活動しております。

なお、当行は平成22年3月に予定している関西アーバン銀行との合併に向けて鋭意準備を進めております。新銀行は銀行業務を通じた地球環境保全に積極的に取り組む方針であり、合併を前に「地球温暖化防止」のためカーボン・オフセットの仕組みを取り入れた共通のエコ関連定期「eco定期預金〜カーボンオフセット〜」の発売を開始しております。



びわこ銀行 頭取

やま だ おさむ  
山 田 督

びわこ銀行環境方針

基本理念

びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の維持と改善に努め、環境こだわり銀行として地域社会との共生を目指します。

環境方針

- 1.びわこ銀行は、地球温暖化防止など環境負荷の軽減を推進するエコ・リーダーバンクとして、環境保全に関するあらゆる商品・サービス・情報の提供など環境関連事業活動を積極的に展開し、環境保全活動の側面からも地域貢献を果たします。
- 2.省資源、省エネルギー、グリーン購入など、環境に配慮した活動の実践により持続可能な社会の形成および汚染の予防に努めます。
- 3.環境目的・目標を定めて、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- 4.環境保全に関する法規制および、同意したその他要求事項を順守します。
- 5.緑の森林(もり)づくり運動の支援や環境教育の啓発に努め、基本理念および環境方針の趣旨を従業員一人ひとりが理解・共有し、行動することにより地域との交流を図ります。
- 6.環境方針は当行の環境保全に関する決意として、一般に公表します。

制定 平成12年 7月 5日 株式会社 びわこ銀行  
改訂 平成20年 5月 1日 頭取 山田 督



環境目的および目標(平成20年度)

環境目標	実績	評価	推進状況
環境保全型・商品、情報の提供<環境銀行の運用>			
環境保全型商品	・エコ関連商品の開発	・環境サポートローン、ISOサポートローン取り組み ・エコサポート(保証協会付き・環境ローン)の取り組み	○ ・優遇条件を適用 ・環境コベナント(特約)融資の取り扱い ・ガス利用、オール電化、太陽光発電設置、住宅性能基準とびわ湖材「地産材住宅」を優遇条件に取り入れ ・耐震リフォームローン取り扱い
	・エコ関連情報の提供	・全店宛にメールで最新環境情報を発信	○ ・最新の環境情報を都度発信
	・環境に配慮した頒布品の購入	・頒布品は全て環境配慮商品としました	○ ・手提げ袋もエコ仕様になっています
ISOマネジメントシステムによる銀行業務の合理化および効率化			
—	・各部門の特色を生かした効率化、合理化につながる目標に取り組みました	—	・3R・3S活動、事務の合理化、時間効率活動など ・環境関連商品の開発 ・e-ラーニングを活用した環境教育の充実
びわぎんエコオフィスづくり運動			
省エネ	・各部門は「運用基準」に基づく活動 (参考:平成16年度より運用管理) ・全体の電力使用量は170.0万Kwh	・「運用基準」に基づき実行	○ ・各部門独自の運用基準を設定
	・「関西エコオフィス宣言」参加により「夏季省エネ(ノーネクタイ運動)」を展開	・167.5万Kwh、前年比△2.8%	○ ・不要時の消灯励行 ・省エネ機器への変更 ・パソコン定時ログオフ
省資源 (ゼロエミッションへの挑戦)	・低公害車率の向上、92.0%以上	・本店および全店で展開	○ ・「関西エコオフィス宣言」「滋賀チャレンジオフィス」お客さまにも呼びかけました
	・紙の使用削減、325.0万枚/年	・92.8%、前年比+1.5%	○ ・天然ガス車、バイオ燃料を導入、軽自動車導入率の向上
	・廃棄物(焼却紙)の削減、4.3トン/年	・389.6万枚/年、前年比+9.1%	△ ・両面印刷の推奨 ※特殊要因により前年対比は増加しました
グリーン購入	・紙のリサイクル率向上、95.0%	・4.3トン、前年比+0.9%	○ ・「ゴミゼロ大作戦」展開、シュレッダーごみをトイレットペーパーにリサイクル、ペットボトルキャップのリサイクル
	・特定商品のグリーン購入率96.0%	・93.7%、前年比△1.0ポイント	○ ・「紙ゴミ削減運動」展開
○	・95.9%、前年比△0.6ポイント	△	・特定調達品目および判断基準に基づき推進
緑の森林づくり運動の推進			
環境保全活動への支援	・びわぎん緑と水の基金への支援	・緑化推進、水環境保全、自主事業活動実施	○ ・延べ11万7千本の苗木を寄贈
	・びわこボランティア活動への支援	・びわこ水源の森林づくり実施 ・「びわ湖の日」環境美化活動への参加	○ ・大津市長等公園近くの別所国有林においてヤマザクラなど、170本を植樹 ・琵琶湖の美化に積極的に参加

# びわぎんの取り組み

## エコオフィスづくり運動

### 省エネルギー推進

電力使用量の削減に努めています。  
(財)省エネルギーセンターより省エネルギー診断を受審し、さらに省エネルギーに努めています。



【電気の使用量】(本館・事務センター)



### 雨水タンク「たまるくん」の設置

本店に、雨水を利用するためのリサイクルタンクを設置しています。洗車や花、植木への散水に活用するほか、地震など災害時における非常用水源の役割も果たします。



雨水タンクの見学

## 「段ボール、シュレッダーゴミ」のリサイクル

リサイクル処理したトイレットペーパー1万ロールを滋賀県教育委員会を通じて、県立障害児教育諸学校に毎年寄贈しています。



リサイクルペーパーを1万ロール寄贈

### リサイクル

- 機密関係書類は地元製紙会社にて溶解し、ダンボール素材にリサイクル
- シュレッダーゴミはトイレットペーパーにリサイクル
- 廃蛍光灯を(年間約1,000本)建設資材等にリサイクル

【廃棄物(紙)リサイクル率】



[リデュース]  
**R**educe

【リデュース】発生抑制  
不要なものは買わない、ものを長く使う。

**R**educe

[リユース]  
**R**euse

【リユース】再使用  
使い終わったものを繰り返し使用。

**R**euse

3R活動

+  
G(グリーン購入)

**R**ecycle

【リサイクル】再生利用  
再使用できないものも資源としてリサイクル。

[リサイクル]  
**R**ecycle

[グリーン]  
**G**reen

【グリーン】グリーン購入  
環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努めている事業者から優先して購入する。

## グリーン購入

消費者として環境保全を支持し、事務用品や事務機器から低公害車まで、環境に配慮したグリーン購入を進めています。



「リサイクル工房」で修理



バイオディーゼル車を導入

### グリーン購入の推進

当行では、「グリーン購入基本方針」を制定し、事務用品から低公害車まで毎年購入物を見直しており、定期預金の証書もグリーン購入により対応しました。電算帳票用紙も、再生紙やFSC認証された紙類を使用しています。

【グリーン購入率】(本店)



- 主な取り組み項目  
事務用品、パンフレット類、銀行書類(伝票、お礼の帯封、証書など)、自動車、コピー機など

※グリーン購入とは・・・

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

※当行では定期預金証書も再生紙を利用しています

関連URL グリーン購入ネットワーク(GPN) <http://www.gpn.jp/> 滋賀GPN <http://shigagpn.gr.jp/>

## 環境コミュニケーション

当行では、従業員への啓発はもとより、お取引先や地域に向けた環境関連情報発信により、さまざまな環境コミュニケーションを行っています。

### 環境教育

当行では、啓発活動として環境セミナーを定期的に開催し、地球環境保全の重要性、環境マネジメントシステムの仕組み等について学習しています。また、毎年内部環境監査員を数名養成しています。



内部環境監査員レベルアップ研修

### 訓練・汚染の予防

当行(本店)では、「重油の油洩れ(給油時、貯蔵時)」、「ハロンガスの洩れ」等を緊急事態として特定し、定期的に手順のテストと緊急事態訓練を実施して、必要に応じた見直しを行っています。平成20年度の事故発生件数は0件でした。

また、当行における騒音の測定値は基準以下となっています。なお、平成20年度の環境関連クレームはありませんでした。



緊急事態訓練

### PCBの管理

PCBを含む使用済のコンデンサ、トランス、蛍光灯安定器などは、「PCB特別措置法」に基づき適切に保管・管理しています。



PCBを含むコンデンサ類保管庫

【PCB廃棄物保管状況】

種別	平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末
高圧コンデンサ	1台	1台	1台
蛍光灯安定器	132個	140個	148個

### 「地球環境保全セミナー」

～家族と一緒に考える「深刻化する地球温暖化と市民・地域の取り組み」について考える～と題して開催。(平成21年3月)  
講師：NPO法人 気候ネットワーク 田浦健朗氏



土曜講座「地球環境保全セミナー」

### 環境情報の提供

地域のエコリーダーバンクを目指す当行では、お取引先の皆さまに役立つ環境関連情報提供に努めています。



「ディスクロージャー誌」  
「環境報告書」  
環境保全・地域貢献から版」

「エコさん一家の日曜日」  
お子さま向け環境学習冊子  
vol.10  
「地球にやさしい夏の過ごし方」

「びわぎん経済情報」

# びわぎん「エコ・ファーストの約束」の取組みについて



環境省認定ロゴ

環境先進企業として環境省が創設した

## 「エコ・ファースト」企業に認定されました

びわこ銀行は銀行のビジネスとして環境問題に取り組んでいます

### エコ・ファースト制度について

「エコ・ファースト制度」とは、業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくために、企業が環境大臣に対し、京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度のことを指します。

自らの環境保全に関する取組を環境大臣に対して約束した企業に対して、使用認定に関する基準を遵守することを条件として、「エコ・ファースト・マーク」の使用が認められます。

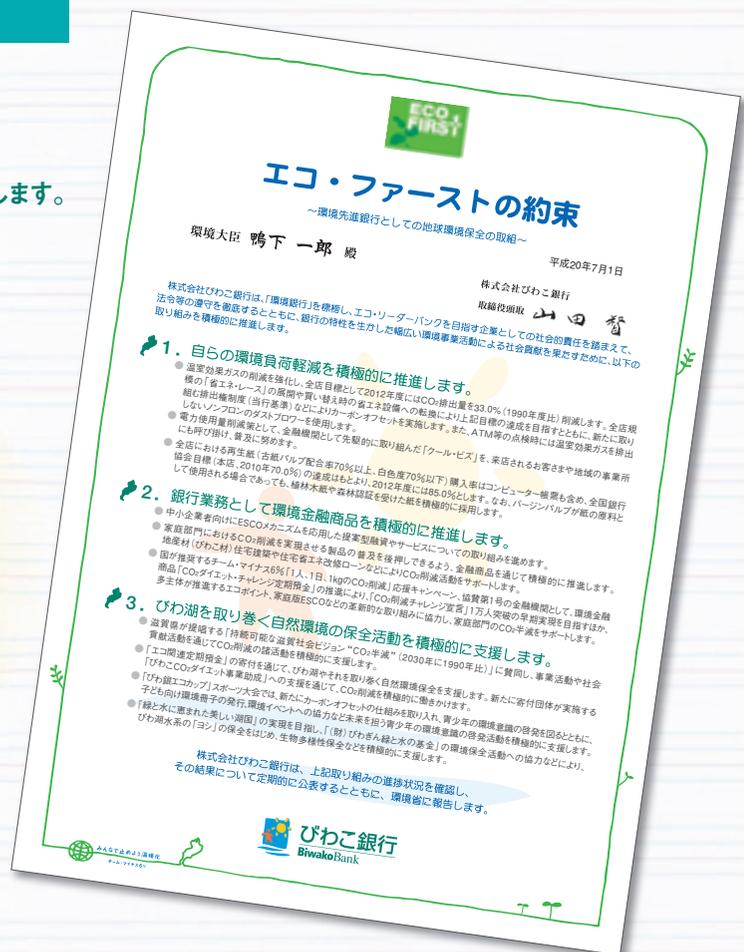
※詳しくは、びわこ銀行ホームページに掲載



平成20年7月1日、鴨下環境大臣（当時：写真左）に対して約束を宣言いたしました

### エコ・ファーストの約束

1. 自らの環境負荷軽減を積極的に推進します。
2. 銀行業務として環境金融商品を積極的に推進します。
3. びわ湖を取り巻く自然環境の保全活動を積極的に支援します。



# 1 自らの環境負荷軽減を積極的に推進します

## 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量削減・推進

環境マネジメントシステムの運用により、当行自身の温室効果ガスの削減を強化し平成24年度にはCO<sub>2</sub>排出量を33.0%(平成2年度比)削減を目標としています。平成20年度の実績は35.5%であり、前倒して目標を達成することができました。

【温室効果ガス排出量】

(全店)

西暦	元号	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(トン)	平成2年度比削減率
1990年	平成 2年	4,331	—
2000年	平成12年	3,339	22.9%
2004年	平成16年	2,968	31.5%
2008年	平成20年	2,793	35.5%
2012年	平成24年	2,900(目標)	33.0%(目標)

平成20年度において目標達成!

(全店)



【びわこ銀行「STOP!地球温暖化」プラン】

項目	内訳	施策
自らの環境負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力使用量削減</li> <li>・都市ガス使用量削減</li> <li>・重油使用量削減</li> <li>・ガソリン使用量削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ機器の設置、不要電気OFF</li> <li>・省エネ型の厨房(料理)</li> <li>・暖房時間厳守、温度管理の徹底</li> <li>・アイドリング防止、空ふかし防止キャンペーン</li> </ul>
事業活動を通じた環境負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔環境関連事業活動〕</li> <li>有益な環境側面によるCO<sub>2</sub>削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境サポートローン</li> <li>・省エネ住宅(住宅性能表示)</li> <li>・新エネルギーローン(太陽光発電)</li> <li>・オートローン(エコライフプラン)</li> <li>・環境関連預金(eco定期預金〜カーボンオフセット〜)</li> </ul>
緑の森林づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹による削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した植樹活動</li> </ul> <p>[参考] 11万本×14kg=1,540トン/年 (林野庁H・Pより50年生の杉の木が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>を植樹本数に換算した場合)</p>

### 事業所対抗「省エネ・レース」に参加

CO<sub>2</sub>削減を競う事業所対抗「省エネ・レース」に滋賀県下の営業店が参加しました。



●省エネ・レースとは：電気・ガス・水道使用量の前年対比の削減率を競うレースです。削減率1位〜3位に当行が入賞しました。

写真：右より

重野センター長、優勝 野洲支店長、2位 河西出張所長、3位 大藪支店長  
主催：滋賀県地球温暖化防止活動推進センター [(財) 淡海環境保全財団]  
URL <http://www.ohmi.or.jp/ondanka/>

## 平成13年度から継続「クールビズ」「ノーネクタイ運動」

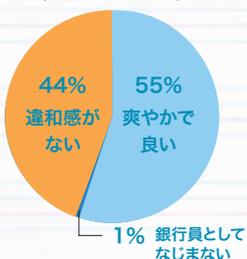
平成13年夏より夏季の省エネ対策として「びわこエコ・サマーキャンペーン」「ノーネクタイ運動」を全店において実施しています。

平成20年度は当行からの呼びかけに賛同し、新たに14社がノーネクタイ運動を実施されました。

ノーネクタイの場合、体感温度は約2℃下がることされ、夏場の省エネ効果を上げています。なお当行は、政府が推進する「チーム・マイナス6%」にも賛同しています。



〈お客さまアンケート〉



【夏季の電力使用量推移】(本館)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

### チーム・マイナス6%に参加

当行は政府が推進する「チーム・マイナス6%」に参加し、全店で地球温暖化防止に向けた取り組みを行っています。室温のきめ細かな設定(暖房20℃以下、冷房28℃以上)、空調機の運転時間の限定、アイドリング防止による排気ガス軽減啓発などにより、温室効果ガス削減に努めています。



## 再生紙の購入を推進

コピー用紙は原則として再生紙を使用します。また、平成24年度にはコンピューター帳票も含め再生紙の購入率85%を目標としています。

※当行の再生紙の基準は「古紙パルプ配合率70%以上、白色度70%以下のもの」です。

【再生紙購入率】



# 2

## 銀行業務として環境金融商品を積極的に推進します

### エコ定期預金

～お預けいただくことで環境保全に貢献できます～

お預かりした預金残高に応じ、一定割合を環境保全活動に寄付する「エコ定期預金」を取り扱っています。

平成21年3月には平成20年10月末の残高に基づき、534万円を銀行の負担で県内の環境保全5団体(7ページ参照)に寄付しました。

なお、平成21年9月から新規に「eco定期預金～カーボンオフセット～」の発売を開始しています。平成22年2月の本定期預金残高の一定割合に相当する金額で排出権を当行負担で購入し、日本政府に無償譲渡するものです。



【環境関連預金の実績】



### 「CO2ダイエット・チャレンジ定期預金」の販売結果について

チームマイナス6%「1人1日1kgのCO2削減」応援キャンペーン協賛商品

おかげさまで「CO2ダイエット・チャレンジ定期預金」は、平成19年9月発売開始以来のべ約20,000名のお客さまよりお預け入れいただきました。また、平成21年3月末における残高は216億円に達しています。

ご預金いただいたお客さまが「私のチャレンジ宣言」に基づき1人1日1kgのCO2を削減された場合、年間約7,300トンのCO2削減に寄与することになります。

### 「環境銀行」の決算を公表します

#### 【「環境銀行」損益計算書】

～びわこ銀行の環境関連事業活動のみの報告書です～

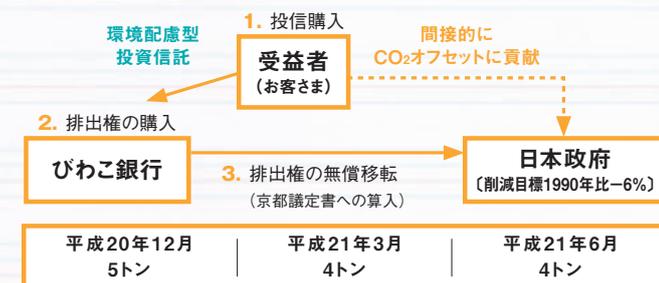
	平成20年3月期	平成21年3月期	
経常収益	638	684	●部門間運用利息 過不足資金を運用する利息で、「有価証券利回」を適用しています。
資金運用収益	589	640	●役員取引等収益 投信窓販手数料、コンサルティング手数料などが含まれます。
(うち貸出金利)	(365)	(464)	●役員取引等費用 ローンに伴う団体信用保証料が含まれます。
(うち部門間運用利息)	(224)	(176)	●その他業務収益 環境関連リースによる収益が含まれます。
役員取引等収益	0	3	●その他業務費用 環境関連融資にかかる一般貸倒引当金の純繰入額が含まれます。
その他業務収益	48	40	●営業経費 ABC原価計算を用い、環境関連事業の経費を算出しています。
経常費用	583	646	
資金調達費用	155	196	
(うち預金利息)	(155)	(196)	
役員取引等費用	92	98	
その他業務費用	12	20	
営業経費	322	330	
経常利益	54	37	

### 「環境未来バランス・オープン(愛称:環境宣言)」

#### 【環境配慮型】投資信託取り扱い開始(平成20年7月～)

【CO2を投資信託でオフセット】

#### ■ 排出権無償移転について



※投資信託は、預金とは異なり元本は保証されません。また、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

詳しくは、目録見書、パンフレットもしくはびわこ銀行のホームページをご覧ください。

### 環境関連融資

～環境に配慮されるお客さまをサポートします～

- 環境サポートローン
- ISOサポートローン
- ESCOサポートローン

#### 環境コベナンツ付融資

企業の環境目的の達成状況により適用利率を変更する新しいタイプのご融資です。

例えば、新しい省エネ設備を導入した場合、後に成果が出ていれば、ご融資利率を優遇するという特約を交わします。地域金融機関として、ご融資がどのように使われ、生かされているかを検証する機能を重視しています。



環境コベナンツ融資取り組み企業と勉強会開催

#### 〈エコライフプラン〉

環境にやさしい住宅・マイカーのために3つのプランをご用意して優遇しています。

- 住宅ローン  
環境配慮型の住宅を建築するための資金
- リフォームローン  
自宅に環境配慮型設備を設置するための資金
- オートローン  
低公害車を購入するための資金

【環境関連融資の実績】



### びわぎんパートナーローン 家庭版ESCOプラン

省エネ機器買い換え資金に対応する「びわぎんパートナーローン 家庭版ESCOプラン」を発売しています。

※家庭版ESCO(Energy Service Company)とは…  
ESCOとは、「省エネで実現する経費節減分、省エネ投資を賄う」という仕組みを用いて「省エネ」と「コスト削減」を両立させるスキーム。

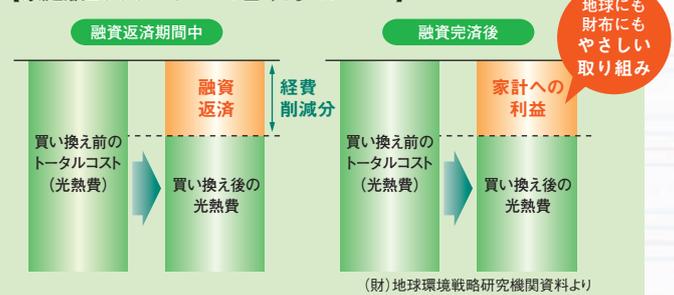
#### 省エネ家電を購入し、省エネとコスト削減を両立するための課題

- 事業者(メーカー、販売業者など)の採算性の問題
- トータルコストの啓発不足

#### 多主体連携による家庭版ESCO

(販売店、銀行、温暖化防止活動推進センター、国、自治体など)

#### 【家庭版ESCOスキームの基本的メカニズム】



地球にも財布にもやさしい取り組み

#### TOPIC ノンフロン ダストブロワーを使用

ATMなどの点検時には温室効果ガスを排出しないノンフロンのダストブロワーを使用しています。



# 3 びわ湖を取り巻く自然環境の保全活動を積極的に支援します

## 次の5団体へ寄付しました

お預りした環境関連預金残高に並び、県内の環境保全団体に寄付を実施しています。

滋賀県の優れた自然環境の保全や地域における環境改善等のために、さまざまな実践活動に取り組み社会に貢献する団体に対して、なお一層の進展を図ることを目的として助成を行っています。



### びわこCO<sub>2</sub>ダイエツト事業への助成

当行の寄付により運営しております。

この事業は、滋賀県内におけるCO<sub>2</sub>排出削減をめざした普及啓発や温暖化防止につながる優れた実践事業に対して助成を行います。



財団法人 淡海環境保全財団

ヨシ刈りボランティア活動  
(草津市)



▲ 淡海環境保全財団  
贈呈式



財団法人 滋賀県緑化推進会

サクラの植樹事業  
鳩の森公園(守山市)



▲ 贈呈式



滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化防止啓発活動  
びわ銀エコカップ 中学生卓球大会(草津市)



淡海ネットワークセンター

自然環境保全活動  
[河川環境整備活動](彦根市)



▲ ネットワークセンター  
基金贈呈式



財団法人 びわぎん緑と水の基金

ヤマザクラやコブシを植栽  
[びわこ水源の森林づくり記念植樹](大津市)

## びわぎん緑と水の基金による助成

平成4年の設立以来、県内で緑化推進や水環境保全に取り組む自治会やNPOなどによる身近な地域の環境保全活動を支援しています。

平成20年度は12件、約235万円の助成を実施しました。



美しい湖国をつくる会

【びわぎん緑と水の基金助成実績(累計)】



## びわ銀エコカップ

平成5年から始まった「びわ銀エコカップ手島杯学童野球大会」のほか、平成7年には「びわ銀エコカップ滋賀県中学生卓球大会」を創設し、これらのスポーツ大会に協賛しています。

当行は、スポーツ大会への協賛を通じて、湖国スポーツのレベルアップと子どもたちの健全な成長を願っています。

中でも、学童野球大会は、後援先である滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの協力を得て、温暖化防止啓発活動や、参加者からもペットボトルキャップを集めてリサイクルし、平成20年度からは関係者の協力を得て、県内の野球イベントとしては先進的な取り組み、「カーボンオフセット大会」を開催しています。



びわ銀エコカップ手島杯学童野球大会



びわ銀エコカップ滋賀県中学生卓球大会

## ～カーボン・オフセットの仕組みを取り入れた環境啓発型大会です～ びわ銀エコカップ手島杯争奪学童野球大会

【びわ銀エコカップ手島杯争奪学童野球大会の流れ】



従来の場合  
試合で排出される  
CO<sub>2</sub>を予測(測定)  
(約6.9トン)

25%  
削減

自動車での移動を  
工夫し、CO<sub>2</sub>を削減  
5.2トン

残ったCO<sub>2</sub>をカーボンオフセット。  
今回の排出権はインドにおけるバイオマス発電プロジェクトからの削減量です。  
コーディネイト(株)PEARカーボンオフセット・イニシアティブ(松尾 直樹氏)



カーボンオフセット証明書

びわごん環境保全活動のあゆみ

年月	内容	主催等
昭和50年	全国植樹祭開催(現 栗東市)を機に植樹活動を開始	
平成13年	ISO14001認証取得(第二地方銀行で初)	
平成20年2月	意見陳述 参議院「国際・地球温暖化問題に関する調査会」で頭取が報告	参議院
平成20年6月	パネル参加 イズミヤ「未来企業研究会」にパネリストとして参加	イズミヤ総研
平成20年9月	環境省委託事業 「平成20年度エコポイント等CO <sub>2</sub> 削減のための環境行動促進モデル事業」に「平成20年度滋賀県家庭版ESCO推進事業」運営主体として参画	環境省委託事業、滋賀県家庭版ESCO推進委員会
平成20年7月	金融業界、初認定 環境大臣より「エコファースト制度」業界のトップランナーとして環境先進企業に認定	環境省
平成20年9月	テレビ出演 テレビ東京「Newsモーニングサテライト」、銀行業界初の「エコファースト制度」認定企業として放送	テレビ東京
平成20年11月	スポーツイベント開催 第14回びわ銀エコカップ滋賀県中学生卓球大会開催(環境啓発器具による学習も実施)	主催:ジャパンデバッグ 後援:びわこ銀行
平成21年3月	寄付 環境関連定期預金残高の一定割合(534万円)を環境保全団体に寄付	びわこ銀行
平成21年4月	意見陳述 参議院「環境委員会」で当行の環境関連活動について報告	参議院
平成21年6月	キャンペーン参画 ライトダウン・キャンペーンに参画	環境省
平成21年7月	ボランティア活動 「びわ湖の日」環境美化活動に参加	滋賀県
平成21年8月	スポーツイベント開催 第17回びわ銀エコカップ手島杯争奪学童野球大会開催(5.2トンのカーボン・オフセットを実施、ペットボトルのキャップ約8万個を回収)	主催:大津軟式野球連盟 協賛:びわこ銀行

預金・貸金の概要

【預金(平成21年3月期)】

10,302億円



【融資(平成21年3月期)】

8,231億円



編集後記

当行では、「地球温暖化防止活動」を重要課題として、環境経営に取り組んでいます。環境関連商品の開発や環境負荷の軽減などの活動を皆さまにお伝えするため、本年も環境保全・地域貢献報告書(かわら版)2009年度版を発行いたしました。「環境銀行」をはじめとする新しい取り組みを一人でも多くの皆さまに知っていただければ幸いです。ぜひ、ご意見・ご感想などをお寄せください。

(メールでのお問い合わせは、ホームページの「ご意見・ご質問」フォームをご利用ください。)

環境報告書ガイドライン対応表

【2009年環境保全・地域貢献報告書と環境報告書ガイドライン2007年度版(環境省作成)との対比表】

項目	対応	頁	環境報告書への開示内容
<b>環境報告書の全体構成</b>			
<b>(1) 基本的項目</b>			
1. 経営責任者の緒言	○	2	頭取の「ごあいさつ」
2. 報告にあたっての基本的要件			
2-1 報告の対象組織・期間・分野	○	8	当行の概要、報告書の対象範囲
2-2 報告対象組織の範囲と環境負荷の補正状況	○	8	対象組織・期間・分野を明示
3. 事業の概況(経営指標を含む)	○	8	預金、貸金の推移
4. 環境報告の概要			
4-1 主な指標等の一覧	○	2~8	主要、環境負荷(有益)項目の指標を開示
4-2 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	○	2	「環境目的および目標」
5. 事業活動のマテリアルバランス	△	2~8	自らの環境負荷、事業活動による環境負荷項目を開示
<b>(2) 「環境マネジメント指標」</b>			
6. 環境マネジメントの状況			
6-1 事業活動における環境配慮の方針	○	2~3	「環境銀行」取り組み
6-2 環境マネジメントシステムの状況	○	4~8	環境マネジメントシステム(具体的な取り組み状況を開示)
7. 環境に関する規制の遵守状況	○	3	環境コミュニケーション
8. 環境会計情報	△	6	損益計算書を開示
9. 環境に配慮した投融資の状況	○	6	環境関連定期預金、融資残高の推移
10. サプライチェーンマネジメント等の状況	○	6	CO <sub>2</sub> がエレクトロニクス関連企業、建設資材・トン、エコライフ等の取組
11. グリーン購入・調達状況	○	3	委託業者との連携による環境マネジメント活動の展開
12. 環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況	○	6	全職機能を活用した商品の開発(エコ関連預金、エコファンド等)
13. 環境に配慮した輸送に関する状況	○	8	ガソリン消費量・燃費の推移を開示
14. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況(NEW)	○	7	工定職・非正規職・パート・アルバイトの就業状況、研修・教育
15. 環境コミュニケーションの状況	○	3	汚染の予防、環境教育、環境情報提供等
16. 環境に関する社会貢献活動の状況	○	3,7	苗木寄贈、ボランティア活動、トイレトペーパー寄贈
17. 環境負荷軽減に資する製品・サービスの状況	○	6	エコ関連定期預金、環境サポートトン、エコライフプラン
<b>(3) 事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況</b>			
18. 総エネルギー投入量及びその低減対策	○	3,8	電気使用量、環境マネジメントシステムのパフォーマンス
19. 総物質投入量及びその低減対策	-		該当無し
20. 水資源投入量及びその低減対策	○	8	グラフにて開示
21. 事業エリア内で循環的利用を行っている物質等	○	3	3R+G(グリーン購入)の取り組み
22. 総製品生産量又は総商品販売量	○	6	環境関連定期預金、環境関連融資の実績
23. 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	○	5,8	CO <sub>2</sub> の排出量
24. 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	-		該当無し
25. 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	○	3	PCBの保管状況
26. 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	△	8	廃棄物(紙)の排出量/再資源化率を開示
27. 排水水量等及びその低減対策	-		該当無し
<b>(4) 「環境配慮と経営との関連状況」を表す情報・指標</b>			
28. 環境効率指標	○	2~8	環境効率指標として開示
<b>(5) 「社会的取組の状況」を表す情報・指標</b>			
29. 社会的取組の状況(労働安全衛生、人権、雇用、地域の文化、個人情報等)	△	7	環境関連定期預金による寄付、地域貢献活動等

※主な「社会的取組の状況」は当ディスクロージャー誌に掲載(ホームページにも掲載)

報告書の対象範囲

報告範囲は基本的に平成20年度(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の環境保全活動および環境パフォーマンス等としていますが、一部には複数年度的事象も含めています。ISO環境マネジメントシステムの認証範囲は本店ですが、報告書に記載している環境保全活動の数値には銀行全体の活動内容も一部含まれています。

当行の概要

本店所在地 滋賀県大津市中央  
四丁目5番12号

創業 昭和17年10月2日

総資産 1兆1,039億円

預金 1兆302億円

貸出金 8,231億円

資本金 280億円

店舗数 14 法人営業本部

9 ローンプラザ

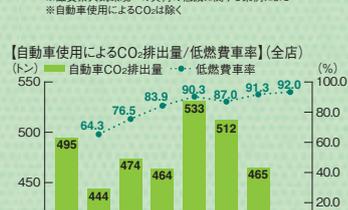
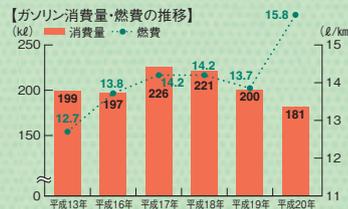
65 支店・出張所

従業員数 894名

(平成21年3月現在)

※店舗数は平成21年7月現在

環境マネジメントのパフォーマンス



この印刷物は、「計画的に管理された森林」の木材を利用したFSC認証紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆インキを使用し、印刷は有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。